

在宅で医療機器を使用されている難病患者さんへ

停電時の非常用電源の確保について

近年の大規模災害を踏まえ、災害への備えについて、日頃から家族間で話し合っておきましょう。
在宅で医療機器（人工呼吸器、酸素濃縮器、吸引器など）をお使いの方は、災害等で停電が長時間続いた場合に、どのように電源を確保するかを考えて準備しておきましょう。



医療機器は精密機械のため、発電機等を直接医療機器に接続するのではなく、専用の外部バッテリー等の充電に使用することが推奨されています。まずは、医療機器メーカーに連絡をし、相談してください。
※メーカーが指定する電源以外は「自己責任により使用」することになることをご理解ください。

～非常用電源の確保方法～

①内蔵バッテリー

- 使用中機器の内蔵バッテリーの駆動時間と充電時間を把握しておきましょう。
- 内蔵バッテリーはできるだけ温存しましょう。
※電源切り替えや移送時を考え、内蔵バッテリーを使い切らないように管理しましょう。



②専用の外部バッテリー

- 使用中機器の専用の外部バッテリー駆動時間と充電時間を把握しておきましょう。
- 停電時に接続する必要がある専用の外部バッテリーについては、停電時にすぐに接続し、内蔵バッテリーはできるだけ温存しましょう。
- 停電が長時間におよぶ可能性を考慮し、他の非常用電源を準備しておく心安心です。

③蓄電池

- 蓄電池を日頃から充電しておきましょう。
※長期未使用保管に注意が必要です。満充電や充電が0%での保管は劣化に繋がるため、定期的に使用し、減った分のバッテリーを充電しておくといでしょう。
- 蓄電池にはいくつかの種類があり、それぞれ製品ごとに使用電力量・充電時間・バッテリーサイクル（充電回数）・サイズ・形など違いがあります。使用方法・目的にあった物を選びましょう。また、必ず「正弦波」交流出力の蓄電池を選ぶようにしましょう。
- 太陽光発電により充電可能な蓄電池もあります。



いざという時に使えるよう、月1回程度は実際に使ってみるなどして練習しておくことが大切です。

令和7年3月作成
京都府丹後保健所（丹後広域振興局健康福祉部）
保健課 感染症・難病係
〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波 855
TEL. 0772-62-4312

④自動車から電源を取る

<ガソリン車の場合>

- 日頃からガソリンが半分になったら給油するよう心掛けてください。
※ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車も同様に給油の心掛けが必要です。
- 電源ソケット(シガーソケット)から専用シガーコードもしくは正弦波インバーターを使用して接続します。必ずエンジンを駆動させてからつなぎましょう。

<電気自動車の場合>

- 100V のコンセントが装備されている車では、コンセントが使用できます。装備されていない場合は、ガソリン車同様電源ソケット(シガーソケット)を使用します。
※電気自動車は、従来のガソリン車と比較して、大型のバッテリーを走行用に搭載しています。
国土交通省や経済産業省などの情報もご参照ください。
(参考)「災害時における電動車の活用促進マニュアル」(国土交通省)、「電動車活用促進ガイドブック」(経済産業省)、「災害時におけるクルマからの電源供給」(JAF ユーザーテスト)

給電方法の例

★シガーソケットを使う場合



※正弦波インバーター



★電気自動車 100V コンセントから給電する場合



自動車からの給電は、蓄電池を充電するための使用を推奨します。
(適さない蓄電池もありますのでご注意ください。)
ドラム式延長コードを準備しておきましょう。

⑤発電機

- 発電機には、「ガソリン」や「LP ガス」「ブタンガス」を使用するものがあります。
- 排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があるため、**屋内では「始動厳禁」**です。
- 発電機は、「操作」や「燃料の管理」「機器管理」等の難しさが伴います。近隣の協力も含め、平時のうちに「いつ」「どうしたら」「どこで」「だれが」など使用の計画を立てておくことを推奨します。

ガソリンタイプ



※参考
「ガソリン缶詰」

ガソリンを一定以上保管する際は、許可や届出が必要となる場合があります。
ガソリンは、専用の金属携行缶に保管してください。
※備蓄に便利な「ガソリン缶詰」もあります。

LP ガスタイプ



日頃から LP ガスを使用している家庭では、その LP ガスを活用するののも一つの方法です。LP ガスは劣化しにくく、長期間保管しやすい一方で、立ち退き避難する場合には、使用できなくなります。

カセットボンベタイプ



カセットボンベタイプの発電機は、「ブタンガス」を使用します(家庭用コンロで使われるガスと同じです)。
低温(4℃以下)では始動が悪く、寒冷地では季節により使えない可能性があります。